

女性活躍推進認定・認証企業への支援【愛知県名古屋市】

地域の実情と課題

- 女性の労働力率を表す、いわゆるM字カーブの底が全国平均より深くなっている。
- 子どもを持つ女性のうち、出産を機に職業をやめた人に実施した本市アンケート結果では、職場の支援制度が整っていれば仕事を続けたと回答した女性が2割程度もあり、家庭環境、教育・保育環境の支援制度も加味した場合、仕事を続けていたと回答した女性は約半数(45.6%)にのぼる。
- 本市のアンケート結果によると、子育て期と思われる30～40歳代で、1日11時間以上働いている割合は女性が約10%であるのに対し、男性は約30%となっており、家事・育児・介護など、関わりたくても関われない状況である。
- 就職する世代の女性が東京圏へ転出超過しており、名古屋圏において女性が活躍できる環境を整備することによって東京圏への転出を食い止める必要がある。

事業の特徴

学生や企業に対する情報発信として企業展への出展、企業で働いている女性に向けた意識啓発事業としてキャリアアップ研修を実施をした。

事業の効果

企業展への出展の学生への参加者アンケートでは、約90%の方に「とてもよかった」「まあまあよかった」と回答してもらっており、名古屋市女性の活躍応援企業見える化サイト(ナゴ女応援! サイト)について約86%の方が当サイトを見てみようと思った。

キャリアアップ研修では1回目、2回目ともに100%近くの満足度を得られた。

また、名古屋市男女平等参画基本計画2020の成果目標の1つである「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」の新規企業数は平成31年2月末時点で138社となり、目標を達成することができた。

目的・目標

- 「名古屋モデル」(名古屋市男女平等参画推進会議(イコールなごや)で各主体が女性活躍に関する課題を共有し、課題解決に向けて主体的に取り組み、検証していく仕組み)において、各主体が一体となって一層強力に女性の活躍を進めていくためには、行政自らが事業を実施することで牽引していく必要がある。
- 目標については「名古屋モデル」のPDCAの「CHECK」(効果検証)に位置付けている「女性活躍推進に係るアンケート」により検証する。
- ①トップの女性活躍推進に関するメッセージの発信に取り組む企業の割合:50%
- ②女性の管理職への積極的登用に取り組む企業の割合:50%
- ③育児休業制度を利用した男性従業員がいる企業の割合:25%

連携団体

連携団体:経営者団体、大学、市民団体(女性団体、男性団体等)、行政の全46団体。

今後の課題

M字カーブが解消されつつあるというものの、未だ企業における女性の活躍について課題は山積している。

また、「名古屋モデル」のPDCAの「CHECK」(効果検証)に位置づけた「女性活躍推進に係るアンケート」結果で、「女性自身の意欲を高める取り組み」が求められており、引き続き、企業への啓発によって働く環境の整備を促すとともに、働く女性やこれから働き始める学生に対するキャリア等についての意識啓発についても取り組みが必要である。

事業の概要

企業展への出展

【事業内容】

企業展メッセナゴヤでは、就職活動中の学生とともに名古屋市女性の活躍推進企業の広報リーフレットを配布。
取り組みや「ナゴ女応援！サイト」をPRし就職活動の参考にしてもらうとともに、「名古屋市女性の活躍推進企業認定・表彰制度」について企業展の出展企業へ広報し、企業数を増やす取り組みを実施。

就職フェアやマラソンEXPOでは「ナゴ女応援！サイト」を広報するパネルを展示すると

【開催日】

メッセナゴヤ：平成30年11月7～10日

就職フェア：平成31年2月28日

マラソンEXPO：平成31年3月8日～10日

【延べ参加者数(メッセナゴヤ)】
120名



キャリアアップ研修

【事業内容】

「女性活躍推進に係るアンケート」において、自社における女性活躍推進にあたっての課題として、上位の課題の1つに「活躍を望む女性が少ない」があったことから、名古屋市女性の活躍推進企業で働く女性従業員を対象にキャリアアップの意識啓発研修を実施。

【開催日】

平成30年11月15日、平成31年2月7日

【延べ参加者数】
30名

